

市場に出る場合のシズル-シズル
直売価格のおよそ半分

栽培事例と粗収益

1 例 (栽培面積 10 a)

年	1年目												2年目												3年目												4年目												5年											
面積	1年目												2年目												3年目												4年目												5年											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
5 a	ねぎ Δ Δ												Δ Δ												Δ Δ												なす Δ ミトマ Δ スイートコーン 大根 0												Δ											
2 a	なす 5/上 Δ												Δ												Δ																																			
1 a	ミトマ 5/上 Δ												Δ												Δ												Δ												Δ											
2 a	とうもろこし 3/下~4/上 大根 8/上 0												0												0																																			
年間	ねぎ 360,000円 (1,800kg)												とうもろこし 64,000円 (800本)												大根 60,000円 (600本)																																			
粗収入	ミトマ 50,000円 (250kg)												合計 734,000円																																															

2 例 (栽培面積 10 a)

年	1年目												2年目												3年目												4年目												5年											
面積	1年目												2年目												3年目												4年目												5年											
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
① 2 a	ねぎ Δ Δ												Δ Δ												⑤												⑤												④											
② 2 a	フコ ほうれん 0 Δ												0 Δ												①												①												⑤											
③ 2 a	とうもろこし にんじん 0												0												②												②												①											
④ 2 a	かぼちゃ だいこん Δ												Δ												③												③												②											
⑤ 2 a	いんげん ほうれん ほうれん 0												0												④												④												⑤											
年間	ねぎ 144,000円 (720kg)												ほうれん草 18,000円 (1,200kg)												にんじん 37,000円 (250kg)												だいこん 60,000円 (600本)																							
粗収入	フコ 30,000 (600個)												いんげん 60,000円 (300kg)												かぼちゃ 20,000円 (120個)												とうもろこし 64,000円 (800本)												合計 595,000円											

- ※ 1. 凡例 ○は種 Δ定植 ~収穫
2. ねぎを栽培を基本にして輪作を組み立てる。

理由

ねぎを栽培することで、地下部に有機物(麦ワラ又は稲ワラ等)が入ると同時に柔白部を作るため土を深くまで耕すことで、土づくりが自然にできる。

3. 作目別・収量・収入は収穫時期、販売の方法で増減する。実際には自分が栽培の得意とする野菜で売れる時期、売れ筋の作目を選り栽培するとよい。